

令和元年度 南町目標に対する反省

- ① クッキングや外食の機会を増やし、楽しみを持って頂く。
また、外出できない方などにも過ごしやすい時期の苑内活動を取り入れる。
 - ・クッキングや外食、外出ができて利用者の方に喜んで頂けた。多くの笑顔がみられ、笑顔の写真をたくさん撮ることができた。
 - ・個々のニーズに応じて少人数で外出することにより、ゆっくりと利用者に関わることができた。
 - ・時間を見つけて習字やカラオケ、苑内散歩等を行うことができた。
 - ・暖かい時期にもう少し散歩に出かけることができればよかった。
 - ・ふるさと訪問に行かれる方が少なかったので、もう少し家族への声掛けに努めたい。
 - ・利用者の気分転換になるような活動を今後も行いたい。

- ② ユニット内や他職種間での情報を共有し、利用者のニーズを把握することでスタッフが統一したケアを行う。
また、利用者の変化等を居室担当から発信をすることで職員間でもコミュニケーションを図り、より良いケアに繋げていく。
 - ・転倒のリスクが多く見守りが必要な利用者が多い中で、対策等を職員でいろいろ意見を出し合いケアができていた。
 - ・居室担当以外でも気づきを報告し、利用者の負担軽減や受診に繋げることができた。
 - ・ノートの活用や口頭での情報伝達や共有ができた。情報量が多い場合等、十分把握できていない時もあるので、口頭での伝達をしっかりと行う必要がある。
 - ・改装工事に伴う居室移動もみんなで協力し合って考え、実行することができた。